



2021年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年3月8日

上場会社名 株式会社 学情

上場取引所 東

コード番号 2301 URL <https://company.gakujo.ne.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中井 清和

問合せ先責任者 (役職名) 管理部 ゼネラルマネージャー (氏名) 野嶋 稔彦

TEL 06-6346-6830

四半期報告書提出予定日 2021年3月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第1四半期の業績(2020年11月1日～2021年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第1四半期	572	△19.4	△324	—	△283	—	△201	—
2020年10月期第1四半期	711	△11.3	△310	—	△262	—	△184	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年10月期第1四半期	△14.15	—	—	—
2020年10月期第1四半期	△12.73	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
2021年10月期第1四半期	11,096	93.8	10,436	93.8	—	—	735.61	—
2020年10月期	11,967	91.3	10,961	91.3	—	—	763.35	—

(参考)自己資本 2021年10月期第1四半期 10,405百万円 2020年10月期 10,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年10月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年10月期	—	—	—	—	—
2021年10月期(予想)	—	16.00	—	17.00	33.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の業績予想(2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	2,900	15.5	364	43.0	416	26.7	283	34.9	19.95
通期	6,500	13.6	1,570	32.1	1,670	21.7	1,130	21.8	79.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期1Q	15,560,000 株	2020年10月期	15,560,000 株
② 期末自己株式数	2021年10月期1Q	1,414,047 株	2020年10月期	1,240,802 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期1Q	14,230,612 株	2020年10月期1Q	14,520,098 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想の前提条件その他に関する事項については、添付資料の3ページ「1. (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。なお、実際の業績等は今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2020年11月1日～2021年1月31日)におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症流行による影響を受けており、自動車、電機、素材、エネルギー等、製造業を中心に経営成績は回復傾向にあるものの、飲食や娯楽、旅行・ホテル業といった業種は依然厳しい状況が続いており、業種によって経営成績に差が出ております。

このような状況の中、当社におきましては、採用手法のDX化への動きにも対応する新商品を投入することで企業ニーズを捉え、「就職博」に関しましては、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に行いながら開催しておりますが、当第1四半期会計期間末時点で緊急事態宣言が発令中で、企業の採用活動がまだ本格稼働に至る前ということもあり、当第1四半期累計期間の売上高は5億72百万円(前期比80.6%)となり、経常損失は2億83百万円(前年同期は経常損失2億62百万円)となりました。

なお、主たる事業である「就職情報事業」につきましては、次のとおりであります。

当第1四半期累計期間(2020年11月1日～2021年1月31日)における新卒採用市場は、2022年3月卒業予定の学生との早期コミュニケーションを図ろうとする企業ニーズは高い状態であり、あわせて2023年3月卒業予定者に対するインターンシップ告知媒体の検討や準備も堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症第3波の流行によって再度緊急事態宣言が発令されたことは、企業の採用活動告知媒体の告知時期や選定等に影響を及ぼしております。「就職博」に関しましては、コロナ禍においては、特に学生との早期コミュニケーションはオンラインで行うことが増加するとの流れを受けて、元々「就職博」の開催数や規模は前年度より縮小させておりましたが、加えて、緊急事態宣言が発令されたことにより、「就職博」への参加を緊急事態宣言解除後へと時期変更する動きなどもあり、「就職博」の売上高は1億16百万円(前期同期比43.8%)となりました。一方、新卒学生向け就職サイト「あさがくナビ」に関しましては、新型コロナウイルス感染症拡大の中において「ダイレクトリクルーティングサイト」としての機能が評価されており、「あさがくナビ」の売上高は84百万円(前年同期比120.1%)となりました。20代向け転職サイトNo.1で、登録会員数が150万名を超えた「Re就活」に関しましては、緊急事態宣言下においては、転職者の採用活動はまだ限定的であり、「Re就活」の売上高は1億22百万円(前年同期比60.8%)となりましたが、若手社会人経験者のヤングキャリア層へ向けての採用ニーズは引き続き根強いものがあり、緊急事態宣言解除後には回復していく兆しが見えております。その結果、当第1四半期累計期間における就職情報事業全体の売上高は5億35百万円(前年同期比78.8%)となりました。

なお、前年度に、新型コロナウイルス感染症対策の中で投入しました新商品群につきましては大変好評をいただいております。「就活サポートmeeting」は感染予防対策を徹底した小規模短時間対面イベントとして効果を上げており、都市圏だけでなく近隣地域に開催地域を拡大しています。「Web就職博」は、会社方針により対面型イベントには参加できないが、学生への接触機会を必要とする企業のニーズを捉え、順調に開催回数、参加企業数ともに伸びております。また当社の「Web就職博」はその運営ノウハウが広く認められ、公的機関や大学主催のWeb合同企業説明会の運営代行も数多く受託しております。また、多くの学生の訪問を受け付けることができない状況であっても、会社の雰囲気や社風を動画によってわかりやすく伝え、自社への応募につなげたいといったニーズにマッチしたSNS連動動画の「JobTube」は、企画導入開始から半年足らずで既に100件以上の引き合いがあり、順次制作を開始しており、好調に推移しています。

引き続き、当社では「あさがくナビ」や「Re就活」といったNo.1サイトを中心に据えながら、「JobTube」や「Web就職博」といった、採用活動のDXを推進し、幅広い企業ニーズに対応する提案を実践してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末と比べ8億71百万円減少し、110億96百万円となりました。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末と比べ9億66百万円減少し、54億41百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少6億81百万円、現金及び預金の減少4億17百万円、有価証券の増加1億7百万円があったことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末と比べ95百万円増加し、56億54百万円となりました。これは主に、投資有価証券の増加84百万円、繰延税金資産の増加26百万円、ソフトウェアの減少18百万円があったことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末と比べ3億46百万円減少し、4億19百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少1億38百万円、賞与引当金の減少1億18百万円、支払手形及び買掛金の減少1億15百万円があったことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末と比べ増減がなく、2億39百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比べ5億24百万円減少し、104億36百万円となりました。これは、四半期純損失2億1百万円、配当金の支払い2億14百万円、自己株式の取得による自己株式の増加2億39百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億31百万円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の業績予想につきましては、計画通り推移しており、2020年12月7日に公表しました第2四半期(累計)及び通期業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,621,110	4,203,831
受取手形及び売掛金	1,378,844	697,519
有価証券	282,203	389,407
未成制作費	7,857	43,743
前払費用	95,736	78,930
その他	23,609	28,788
貸倒引当金	△439	△222
流動資産合計	6,408,921	5,441,999
固定資産		
有形固定資産		
建物	671,046	671,046
減価償却累計額	△358,450	△364,930
建物(純額)	312,596	306,116
構築物	6,159	6,159
減価償却累計額	△5,782	△5,796
構築物(純額)	377	363
機械及び装置	3,428	3,428
減価償却累計額	△3,218	△3,225
機械及び装置(純額)	209	202
工具、器具及び備品	37,132	37,727
減価償却累計額	△22,219	△22,213
工具、器具及び備品(純額)	14,912	15,514
土地	526,457	526,457
有形固定資産合計	854,553	848,654
無形固定資産		
ソフトウェア	288,006	269,969
電話加入権	6,505	6,505
無形固定資産合計	294,511	276,474
投資その他の資産		
投資有価証券	3,933,759	4,017,901
長期前払費用	19,616	19,066
前払年金費用	10,874	19,140
繰延税金資産	188,773	215,318
差入保証金	90,010	90,010
保険積立金	166,693	167,655
その他	6,500	6,500
貸倒引当金	△6,500	△6,500
投資その他の資産合計	4,409,727	4,529,093
固定資産合計	5,558,793	5,654,222
資産合計	11,967,714	11,096,222

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	295,951	180,201
未払金	61,115	58,960
未払法人税等	141,191	2,911
賞与引当金	167,000	48,900
前受金	20,271	77,057
その他	80,935	51,576
流動負債合計	766,465	419,607
固定負債		
長期未払金	217,800	217,800
長期預り保証金	22,146	22,146
固定負債合計	239,946	239,946
負債合計	1,006,411	659,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	3,354,476	3,354,476
利益剰余金	7,500,623	7,084,412
自己株式	△1,371,141	△1,610,741
株主資本合計	10,983,958	10,328,148
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△53,391	77,784
評価・換算差額等合計	△53,391	77,784
新株予約権	30,736	30,736
純資産合計	10,961,302	10,436,668
負債純資産合計	11,967,714	11,096,222

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)
売上高	711,030	572,916
売上原価	341,759	334,782
売上総利益	369,270	238,133
販売費及び一般管理費	679,795	562,462
営業損失(△)	△310,525	△324,328
営業外収益		
受取利息	159	125
有価証券利息	24,596	22,687
受取配当金	13,275	1,543
受取家賃	11,565	11,298
その他	1,061	7,753
営業外収益合計	50,658	43,409
営業外費用		
不動産賃貸原価	2,229	2,216
自己株式取得費用	—	643
営業外費用合計	2,229	2,859
経常損失(△)	△262,095	△283,779
税引前四半期純損失(△)	△262,095	△283,779
法人税、住民税及び事業税	2,026	2,026
法人税等調整額	△79,227	△84,383
法人税等合計	△77,200	△82,356
四半期純損失(△)	△184,894	△201,422

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は就職情報事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。